

この先はどうする？

- ① 自分たちの解放を条件に、民衆と《神託者》の前に出る。
- ② 裏切って攻撃する意図で、民衆と《神託者》の前に出る。
- ③ 《博士》を拘束し、奥の聖域へと進む。

野外

《博士》を黙らせ、廃墟となった城の地下道を急いで駆け抜ける。計画どおり進めれば、気づかれずに済むはずだ。いくつもの秘密の壁を通り抜け、隠し階段を駆け上がり、アッシュトウースが特定した《神託者》の聖域に着いた。

内陣にまで進み、護衛に囲まれた白いローブのオーキッドと対峙した。

「自由を勝ち取るために戦うのかや？」《神託者》が言った。「わらわを追い詰めるとは見事よの。これほど早く、ここまでたどり着こうとは。しかるに、それもこちらの手の内。では提案しようかの。わらわを故国まで導くのじゃ。汝らを助ける者どもがおる。汝らを売った密輸入人の居場所も教えよう。じゃが万が一にも目の前の、破滅的な道に足を踏み入れるというなら、愛しきパーティは、汝らの手の届かぬ所へ消え失せよう」

選択 A：《神託者》を攻撃する。

選択 B：《神託者》の交渉に応じる。

M8

選択肢: 《神託者》を攻撃する

目的: 《神託者》を倒す

序幕:

諸君が武器を構えると、《神託者》は立ち上がり、ロープのほこりを払った。

「よくよく驚かされるのぉ」彼女は言った。「警告しよう。汝らの力、とっくにお見通しじゃ。死は目の前にある。逃げるにしくはなし」

《神託者》は予想よりも素早く身をひるがえし、裏口より出ていった。その場に多くの護衛を残して。

特別ルール:

カルト信者は、生ける骸骨（通常）ではなく、生ける亡霊（通常）を召喚します。

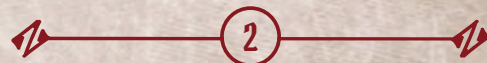


裏口の扉を開けると《神託者》は長い廊下の端にいた。

「汝らの進んできた数多の道が見ゆる」《神託者》は叫んだ。「多くの決断を経て、ここまで来ることができた。しかしこの選択は過ち。死へと誘う道。今、それを思い知らせようぞ」

《神託者》が片手を上げると、視界がぼやけてきた。廊下がねじ曲がり、世界が回転する。バランスを崩し、膝をついた。目の前の光景が揺れ、分裂していくのを、恐怖のなかで見守った。一本道だったはずの廊下は、異なる方向へと進む二本の廊下へと変貌を遂げた。《神託者》は佇んでいた……両方の廊下の奥で同時に。

「立ち去れ。さもなくば、死ぬ」そう言い、突き当たりにある扉の向こうに消えていった。



《神託者》は、廊下の突き当たりの向こうにある小部屋の奥で、壁を背に立っていた。反対側の廊下の突き当たりの向こうにある小部屋の奥でも、もうひとりの彼女が立っているにちがいない。ついに追いつめた。そう思ったが、相手は追い詰められた者の表情ではなかった。

「汝らにはわかるまい。無窮なる時は撚糸となり、あらゆる方向に広がっているということ」そう、うそぶいた。「わらわを滅ぼせると思うてか」

特別ルール:

即座にもう片方の②の扉も開けてください。

2つのBタイル上のカルト信者（上級）は、双方とも《神託者》です。それぞれHPは $(H \times C) / 2$ （切り上げ）で、Hはカルト信者（上級）のHPを示しています。毎ラウンド終了時、各《神託者》の受けているダメージが均等になるように、より多く受けている方のダメージをその分だけ除去します。また片方だけに生じている負の状態を除去します。片方だけが保有するHP以上のダメージを受けても即座には倒れず、ラウンド終了時にまず上記のHPの均等化を実行してください。それでも両者のHPが0であった場合のみ、《神託者》は倒れます（つまり二人同時でなくては倒すことができません）。加えて《神託者》は、自身の攻撃が全て有利になります。また《神託者》は、②の扉のマスに入ったり通過したりすることはできません。



恐狼 カルト信者 生ける亡霊



負傷の罠 (x2) 石柱 (x2)

使用する地形タイル:

L2b
J1a
B2b
B3b

終幕:

最後の一撃が《神託者》に吸いこまれた。困惑の表情がよぎる。

「失敗……」そう、呟いた。「わらわは理解していた、と思っていた。じゃが、汝らの道は……開かれておった。そしてこの道は……わらわにとっては……閉ざされておったというのか」

《神託者》は崩れ落ちた。大地に倒れ込むと同時に、ふたつの廊下とふたつの小部屋は瞬時に揺れて重なり、融合し、残されたのは元通りのひとつの廊下、ひとつの小部屋、そして地面に横たわる一体の白いロープのオーキッドの死体だけであった。

《神託者》を下した後、計画どおり放棄された地下道を抜けてアッシュトウースの元へと戻った。待っていたオーキッドたちは、ほとんど表情も動かさず、城での出来事に聞き入った。ただうなずき、控えめに感謝の意を伝えてきた。

「それはよかった。」アッシュトウースは言った。「この計画が成功するかどうか、自信はなかった。だが今や《神託者》の信者は散り散りになることだろう。そして君たちは……そう、君たちは自由を取り戻した」

アッシュトウースは、また別の曲がりくねった道を通り、いくつもの分岐路を経て、青空が広がる出口まで導いてくれた。目の前の棧橋では、多くの小型船が錨を降ろしている。

「我らは今後も、陰ながらこの計画の行く末を見守らなければならぬ」アッシュトウースは言った。「しかし君たちは行くべきだ。船に乗り、自由になれ」

出航の際、アッシュトウースは「これを」と言ってお守りをひとつ差し出してきた。「これさえあれば、君たちはいつでも我らが民から歓迎されることだろう。我が懐かしき故郷まで、さほどの距離はない。クワトリルの国に行くなら、海岸線に沿ってずっと南に行けばよい。そして君たちを売り渡した男は……おそらく西の大陸に戻ったものと思われる」

報酬:

アイテム017番〈強化の護符〉

各人 20XPずつ